

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 11 月 6 日

計画の名称	⑤ 市街地における段階的な雨水対策の推進									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成24年度 (3年間)			交付対象	岐阜県					
計画の目標	雨水対策が遅れている市街地において、内水被害による浸水被害が頻発しているため、河川改修を促進することにより、下水道事業による雨水対策を可能とし、県民の安全・安心を守る。									
計画の成果目標 (定量的指標)	・近年発生した内水被害市街地において、下流の受け皿となる河川改修を完成させることにより、50mm/h対応の下水道整備が可能となる排水面積を305haに増加する。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H24末)	
	河川改修を完成させることにより、50mm/h対応の下水道整備が可能となる排水面積を増加させる。						0ha	-	305ha	
	杭瀬川=30.2ha、桑原川=21.3ha、 荒田川=253.7ha									
全体事業費	合計 (A+B+C)	315百万円	A	315百万円	B	- 百万円	C	- 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	-

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岐阜県事業評価監視委員会において意見聴取	平成27年11月6日
	公表の方法
	岐阜県ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 河川事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	河川	一般	岐阜県	直接	-	広域河川1	改修	杭瀬川下水道関連特定治水施設整備事業	築堤・サイフォン改築等 (L=0.3km)	大垣市						195	
1-A-2	河川	一般	岐阜県	直接	-	広域系1	改修	桑原川下水道関連特定治水施設整備事業	築堤・掘削護岸等 (L=0.2km)	羽島市						98	
1-A-3	河川	一般	岐阜県	直接	-	広域系1	改修	荒田川下水道関連特定治水施設整備事業	築堤・掘削護岸等 (L=0.02km)	岐阜市						22	
小計 (河川事業)																315	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

その他関連する事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-2	河川	一般	岐阜県	直接	—	広域系1	改修	桑原川下水道関連特定治水施設整備事業	築堤・掘削護岸等(L=0.5km)	羽島市						61	
1-A-3	河川	一般	岐阜県	直接	—	広域系1	改修	荒田川下水道関連特定治水施設整備事業	築堤・掘削護岸等(L=0.18km)	岐阜市						95	
											小計（河川事業）					156	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				桑原川及び荒田川については、目標値を達成したが、杭瀬川は関係機関との協議が遅れ、目標値を達成出来なかった。全体では、目標の約9割の実績となっており、一定の効果は得られているものと考えられる。								
II 定量的指標の達成状況		指標① 排水面積の増加	最終目標値	305 ha	目標値と実績値 に差が出た要因	桑原川及び荒田川の事業は完了している。杭瀬川は関係機関との協議が遅れ、目標値を達成出来なかったが、全体としては、目標の約9割の実績となっており、一定の効果は得られているものと考えられる。						
			最終実績値	275 ha (H26末参考実績値:275ha)								
			最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因							
			最終実績値									
			最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因							
			最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												

3. 特記事項（今後の方針等）												
平成27年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業の進捗を図り、安全・安心な県土づくりに努めていく。												